

保健福祉企画総務課長 様

区政推進課長 好本 信明

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、平成28年2月26日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

<p>事業名 (整備概要)</p>	<p>北区役所高松地域センター新築工事</p>	
<p>委員からの意見</p>	<p>委員の意見に対する回答</p>	
<p>○防災設備は、音声だけでなく聴覚障害者にも理解できるよう視覚でも認識できる設備でお願いします。</p> <p>○手すりについて、高齢者の利用も多いと考えられ、可能な範囲で取付をお願いします。</p> <p>○消防車両の導線と来庁者の導線が交差している。出動の時は、外部スピーカーで一声あってからの出動など、安全に配慮いただきたい。</p> <p>○玄関までは、点字ブロックのみの誘導であるが、玄関の位置を知らせるチャイム等の検討をしてほしい。</p>	<p>○検討します。</p> <p>○可能な範囲で設置します。</p> <p>○出動の際は、サイレンの吹鳴前に周囲への注意喚起を行い、安全に出庫等するよう職員への周知を行います。</p> <p>○配置についても協議が必要であるが、検討します。</p>	

○3階のトイレへ男女別が分かるマークを必ず付けてください。

○障害者用の駐車スペースをもう一台分増やすことはできないか。

○非常口はどうなっているか。

○受付で車椅子の人でも申請書などが記載できるように配慮してほしい。

○消防車両との導線について、建物北側を通過して玄関まで行くことはできないか。
安全確保をお願いします。

○スペース的な問題で2階へはトイレを設置できないということだが、サインなどで、トイレが3階にあることをしっかり案内してほしい。

○階段の手すりには、点字でのお知らせを是非つけてほしい。

○180号線からの導線について、玄関へ音の鳴るものを設置するなど、障害のある方が、自分で地域センターまで行ける、公共交通機関からのルートができるような設備を考えてほしい。

○設置します。

○限られたスペースで、必要な駐車台数を確保する必要があり、1台で考えている。

○建築基準法上でも面積的には、別途の非常階段は必要ないと考えている。非常時にはベランダへの避難も考えている。

○車椅子の方でも使用できる記載台等を検討します。

○配置計画を協議していく中で、最終的に北側へは受水槽やホース乾燥棟などがあり、そこへの進入路の確保はできない。

○サインなどで案内をします。

○点字表示をつけるよう検討します。

○検討します。